



# かわち



## '16年広報かわちバックナンバー

☆ 2016年の広報かわちを再現してみました。☆



# 謹賀新年

河内町議会議員一同

河内町役場職員一同





河内町議会議長  
野澤良治

# 誰もが希望の持てる 公平な町づくりを目指して



河内町長  
雑賀正光

あけましておめでとうございます。新しい年の初春を、ご家族お揃いでお迎えのことと、心よりお喜びを申し上げます。

本町の教育につきまして、いよいよ新しい時代の幕開けを迎える運びとなりました。建設が進んでおります小中一貫校の学校名も「かわち学園」と決まり、平成30年度の小学校の統合に先立ちまして、今年4月から中学校が統合されます。

長い間、皆様と様々な形で議論をし意見を交換してまいりましたが、未来ある子どもたちに、よりよい教育の場を提供することができます。皆様のご理解、ご協力に對しまして改めて感謝申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい平成29年の新春をお迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、東日本大震災から5年が経過し復興に向けて拍車がかかる中、復興に水を差すように4月に熊本地震が発生し、台風や集中豪雨が度重なるように日本列島に襲いかかり、各地に被害をもたらしました。被害にあわれた方々には、本格的な復興に向けて解決すべき課題は山積しておりますが、一日も早く元の生活に戻れますよう、復旧・復興を強く期待するものであります。

申し上げます。

統合により廃校になります小中学校につきましては、小中学校再活用審議委員会におきまして、専門学校等の誘致を検討してまいります。すでに、旧長竿小学校においては、民間活力を利用したキャピアフィッシュ（チョウザメ）の養殖を開始し、有効利用が図られています。また、旧給食センターについても、民間企業に貸し付け、日本初となる米ゲル大量生産プラント工場として間もなく稼働いたします。

世界に目を向けますと、昨年は3年連続で日本人研究者がノーベル賞を受賞し、リオデジャネイロオリンピックでは、過去最多の41個のメダルを獲得しました。そして、これまで数々の記録を塗り替えてきましたイチロー選手は、日米通算で世界最多安打を更新するなど、胸のすくような年となりました。

本町におきましては、人口減少や少子高齢化への対応と町の特性を生かした地域社会を創造し、町に活力を取り戻す「地方創生」に取り組むため、昨年3月に向こう5年間の基本目標や具体策をまとめた「まち・ひと・しごと創生 河内町総合戦略」を策定しました。また、本年3月には、今後10年間

また、税や社会保障に関連するマイナンバー制度が開始され、公職選挙法の改正では共通投票所の設置や選挙人年齢の引き下げによりまして、18歳から投票が可能となり、国政におきましては、7月10日に行われた第24回参議院議員通常選挙が改正後初めての選挙となり、18歳、19歳の約240万人が新たに有権者となりました。

少子高齢化の進んでいる日本において、これからの社会を担うことになる若い世代の意見はより重要であり、選挙人年齢が拡大されることで、選挙人人口の減少という状況に歯止めがかかることに加えまして、若者の選挙に対する意識が向上することにも期待されています。

北海道新幹線が開業し北海道から九州まで四国を除く3島が結ばれ、国立西洋美術館が国内20件目の世界文化遺産に登録されました。さらには、大隈良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞し、リオデジャネイロオリンピックでは、過去最多となる41個のメダルを獲得し、オリンピック旗が、次回開催都市である東京都の小池知事に引き継がれるなどの明るい出来事は、日本を元気にし私たちに夢と勇気を与えてく

のまちづくりを展望した「第5次河内町総合計画」も策定されます。

この二つの総合戦略と総合計画に基づきまして、本町が持つ「良さ」を生かしたまちづくり、新たな人の流れ、充実した教育環境づくりを進めることで、子育てのしやすいふるさとの創造と明日を担う世代の定住促進のため、各種の施策を展開してまいります。

先のアメリカ大統領選挙において、トランプ氏が次期大統領に選ばれました。トランプ氏が国民の支持を集めた理由の一つは、常識にとられない言動です。イギリスのEU離脱を決めた国民投票も、常識にとらわれた既成勢力の敗北であると言われています。

日本全体が人口減少社会に突入した今、各自自治体が問題解決のための方策を検討し、実施しています。本町におきまして、解決すべき様々な問題に對しまして、前例にとられない柔軟な発想と皆さんのお知恵を拝借しながら取り組んでまいりますので、これまでも同様、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして輝かしい年になりますよう、お祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

れました。

本町において、引き続き取り組まなければならない課題としましては、少子高齢化が進行する中、子育て支援対策と若者の定住促進、そして、農業問題では先のアメリカ大統領選挙において、多くの世論調査を覆しドナルド・トランプ氏が勝利したことにより、TPPの行方が大変気になるところであります。

そして、間もなく学校名を「かわち学園」としました、念願の小中一貫校が完成します。4月からはまず中学校が統合されますので、30年度の小学校統合に向けまして、中学生の皆さんは元より、保護者の皆様、町民の皆様からなるご協力をいただき、全国に誇れるような小中一貫校となるよう強く願うものであります。

我々議会一同、めまぐるしく変わる社会情勢を勘案しながら問題意識を共有し、町民の皆様の信託に応えられますよう努力を重ねてまいります。

どうか今年も、相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。